# 『家族による家族学習会』を終えて

沖福連・理事 宮國利津子

３名いる担当者のうちの１人として参加した「あかちち会」３度目の『家族による家族学習会』も、１月 29 日（土）に無事５回の日程を終えることができました。

今回の学習会に参加されたご家族にも、次は担当者として活動したいという方がいて、養成研修の受講などをさっそく進めているところです。

私自身は担当者として活動していくなかで、参加されたご家族が明るく前向きなお姿を取り戻されていくのを感じられたときは嬉しくなりました。

家族学習会で本音を語ることにより、他のご家族の情報にもなり、また当のご家族自身も解決の糸口を見出すことになり得ると思うのです。

当事者ご本人との関わり方、正しい対応の仕方を学ぶことにより、家族が変わっていくことで当事者ご本人も一歩前進されていくように感じられます。

家族学習会は同じ悩みを抱えているご家族だけでの学習会ですので、話しやすく、安心感が得られて、元気になれる場です。

この活動を続けていく必要があると思います。

**2021 年度は、南風原町「てるしのワークセンター」に会場を借りたあかちち会のほか、読谷村や沖縄市でも『家族による家族学習会』を開催することができました。**

**また、オンラインで全国とつながるリモート版家族学習会や、リモート版担当者研修&アドバイザー研修など、コロナ禍においても内外でなお活発な動きが続いているところを見ると、「つながりたい」家族の思いを背景に強く感じることができます。**

**『家族による家族学習会』は、学びを深めるツールとしてだけでなく、家族会活動を知る入り口としても、とても役立っていると感じます。**

**ただ資料から学ぶだけではなく、それぞれが経験を持ち寄り、話すことと聞くこととを通して、毎回の時間を一期一会の豊かなものとしてくれているようです。（増山）**